

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 6名回答、回答率 100%
保護者様： 20名回答、回答率 83%

職員の意見

○環境・体制整備

訓練室に段差などではなく、クッションフロアとなっているものの、訓練室と手洗い場・相談室に段差があり、足が不自由な生徒にとっては転倒の危険があるため、手洗い・着替えの際は職員が介助している。生徒の荷物用ロッカーや靴箱、個別課題の入っている書棚等は転倒防止措置をしている。サービス提供時には常時、換気扇を回す・窓を開けることで空気の入れ替えを行う等感染防止対策を行っている。教室内の環境の不備が発生した際には、管理会社や修理業者に依頼し、都度修繕している。

○業務改善

支援後のミーティングは送迎時間の兼ね合いで取れていないが、翌日の支援前のミーティングで振り返りを行っている。ミーティング時は議事録を残し、いつでも振り返ることができるようにしている。年1回のアンケートで内部・外部からの評価を確認し、次年度の目標に反映している。

○適切な支援の提供

個別支援計画に沿って、職員全員が個別目標の確認ができている。年度初めに療育活動の年間計画を立て、月ごとのテーマに応じて活動を組み立てている。児童発達支援管理責任者の意見だけでなく、職員全体で各生徒に対する支援について、振り返り、計画の策定を行っている。また、課外活動を実施し、SSTを含む社会での体験を継続して提供できている。

○関係機関や保護者との連携

学校・相談支援事業所・保護者と随時情報共有を図り、緊急時の対応について半期に一度確認をしている。送迎時や面談を通して保護者と密なコミュニケーションがとれている。

○保護者への説明責任等

毎月ニュースレターで次月の活動予定をお知らせしている。契約時は重要事項を説明し、個人情報の使用同意をいただいたうえで契約をしている。本来、保護者同士の連携を支援する場として、「保護者会」を半期に一度行っているが、昨年同様に新型コロナの影響で行えていない。教室内の療育カメラ・送迎車置き去り防止ブザーを設置したことの案内を配布し、保護者が安心して預けられるよう、配慮している。

○非常時等の対応

月一回の避難訓練では、地震・火災・水害・積雪・不審者等様々なケースを想定し実施している。虐待防止の教室研修を他教室の職員を交えて定期的に行っている。車内置き去り防止のブザーの使い方を伝え、SOS発信ができるようにしている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

保護者様からのご意見はありませんでしたが、多くの方から環境整備等の安心の声を頂いた。今後も安全な環境づくりに努めていく。

○適切な支援の提供

多くの保護者様から、プログラムが固定化されないよう工夫しているに関して「はい」とお答えいただいた。今後も集団療育・個別課題で個々に対して適切な支援を提供できるよう努めていく。

○保護者への説明等

多くの保護者様方から評価をいただいた。今後も些細なことでも共有し、利用者様、保護者に真摯に対応していく。

○非常時等の対応

多くの保護者様方から評価をいただいた。今後はさらに月に一度の避難訓練の内容をより実践的に取り組めるように教室内で検討していく。

○満足度

保護者様からのご意見はありませんでしたが、多くの方からお子様を通所を楽しみにされており、支援に満足しているとの評価をいただいた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・施設の老朽化について管理会社と連携を取り、緊急度を確認していく。また、並行して近隣のテナントの空き状況を確認し、最適な移転先を探していく。
- ・近隣の就労移行支援事業所にアポイントを取り、就労移行支援事業所への見学を行う。
- ・保護者参加型療育を企画し、日程調整を行い、定期的な開催を目指す。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・壁に穴が空いてる箇所は業者に依頼し修繕を行った。移転先に関しては今後も探していく。
- ・中学生の利用者が増えたことや体験の日程が合わないことから、就労移行支援事業所への見学が行えていない。連絡は取り合っているため今後企画していきたい。
- ・保護者参加型ではないが、療育参観は行った。一度しかできていない、開催期間によっては参加できない方が多いため、開催期間や活動内容を考えたうえで定期的に行っていく。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・保護者様の要望を聞き、教室内で共有することで支援に反映させることができている。
- ・イレギュラー時には職員間で連携し対応することで、安全管理の徹底を行っている。
- ・様々な療育を全職員が立案することで多角的な視点からの療育を行っている。

○改善点

- ・保護者会や療育参観に関しては対面だけでなく、遠隔でも参加できるような形での開催を検討する。
- ・緊急時対応では利用者様への周知方法を検討する。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・保護者会や療育参観を開催し、保護者同士の交流を深めながら教室内でのお子様の様子を共有していく。
- ・保護者会や面談時などを通して、緊急時対応について周知していく。
- ・課外活動や調理活動を積極的に取り組む。

○1年間で取り組む具体策

- ・保護者会、療育参観については定期的に開催できるよう長期休みなどで事前に検討する。
- ・課外活動は長期休みだけでなく祝日等でも取り組める内容を検討し、保護者様からの要望にもお答えできる活動を取り入れていく。